

新 真鍋町交番 開所式



57号

令和6年9/1
二中地区市民委員会
文化広報部発行
電話 824-3588
FAX 824-3553



名称 土浦警察署真鍋町交番
所在地 土浦市真鍋三丁目一―二五
連絡先 029(822)0110



交番沿革

真鍋町交番所長 角田 守生

真鍋町交番は、昭和57年5月、現所在地に「土浦警察署真鍋警察官派出所」として設置され、その後「土浦警察署真鍋町交番」として名称変更し、令和6年5月に新庁舎が完成し、現在に至っております。

交番管内は土浦市北東部の住宅密集地域を管轄とし、国道6号、同125号、同354号等の幹線道路が通じる交通の要所となります。

「真鍋町交番」開所式

土浦市防犯連絡員 羽生 佐洪
協議会真鍋分会長

令和6年5月17日 新築された真鍋町交番の開所式が行われました。

当交番は、昭和41年1月に「土浦警察署真鍋町巡查派出所」として、土浦第二高等学校南側の、通称「真鍋宿通り」と重複国道(国道125号、354号)が交わる場所に設置されました。

それ以来、この地域の安全・安心な地域の維持に大きく貢献して頂いております。この度、新築されたことにより、その願いは益々大きいものとなりました。

これからも、住民との協同の下、安心で平和な地域の要としての役割を心より期待しております。

真鍋町交番の概要

勤務態勢等

3班編制による、3交代（24時間毎）勤務を実施し、昼夜を通じて、管内の事件事故等の対応を実施しております。

管内情勢等

(1) 管轄区域

真鍋一丁目～六丁目、真鍋新町、東真鍋町、西真鍋町
木田余、木田余西台、木田余東台一丁目～五丁目
若松町、東若松町、東都和、立田町、
城北町、湖北一、二丁目、中央二丁目、殿里

(2) 管内人口（令和5年統計数値）

総人口 20,032人 ・ 総世帯 10,041世帯

(3) 学校（小、中、高、大）7校

小学校1、中学校1、高等学校4、大学1

(4) 金融機関 11行

銀行4、郵便局4、信用金庫1、農業協同組合1、信用組合1

(5) 刑法犯発生状況（令和5年中）

総認知件数 147件（令和4年同比+2件）

内訳：自動車盗 0（-5）、自転車盗 31（+18）、車上ねらい 1（-8）、
空き巣 7（+2）、忍込み 1（±0）、居空き 0（±0）

※空き家を対象とする空き巣狙い、自転車盗被害が増加しており、このほかニセ電話詐欺（SNS投資詐欺の被害）が多発しております。

(6) 各種防犯対策

茨城県警察では、管内の各世帯を訪問する巡回連絡を推進しており、当交番におきましても、管内住民の皆様に防犯交通安全のお声がけ、同パンフレット配布などの防犯対策を推進しております。

防犯対策の内容は

- ・鍵かけの徹底（侵入犯罪被害防止）
- ・留守番電話の設定（ニセ電話詐欺被害防止）
- ・反射材の着用（交通事故被害防止）

などとなっております。



皆様のご自宅に警察官が巡回連絡でお伺いした際は、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

二 中 地 区

新 地 区 長 紹 介



真鍋五丁目
千葉 修
趣味：木材彫刻



真鍋新町
瀬能 衛
趣味：食べ歩き



木田余東台
久松 猛
趣味：登山
ピアノ

真鍋二丁目
真鍋三丁目
真鍋四丁目
真鍋六丁目
東真鍋町

宮内 名和 中西 上野 中山 下田
博 功 憲 嘉久 周 衛

西真鍋町
殿里
木田余
木田余西台
若松町
東都和

横田 悦男
西村 和男
羽成 幸二
名和 敏彦
井深 万博
田中

まちづくりの
実践をたたえる表彰
令和6年

●岡田孝雄さん

環境美化（14年間）

殿里

町内の一斉ゴミ拾い、殿里池周囲の一斉草刈り、花壇整備等の活動を積極的にを行い、町内の美化運動を年間行事として定着させた。

●関口久美子さん

福祉の増進・青少年育成（13年間）

東真鍋町

市民委員会委員として福祉活動に積極的に参加している。また、子ども会活動への支援、お年寄りへの声掛け等を率先して実施している。

●田中智恵子さん

奉仕・福祉の増進（10年間）

東都和

民生委員として3期9年に渡り高齢者や障害者等要支援者の実態把握を行い、相談に乗ったり、関係機関と連携を図るなどの支援を行った。

●江田浩さん

交通安全（7年間）

東都和

交通量の多い交差点に毎日立ち、児童の下校時の安全な横断を見守っている。

4月から真鍋五丁目地区長になりました。文教地区でもありますので、朝は生徒たちの通学で賑わっています。また八坂神社の櫻は見事です。11月頃から落ち葉の清掃も行います。コロナ禍により中止になっていた行事も徐々に復活してきましたので、区民のコミュニケーションも深まりつつあります。そして育成会、青年会、いきいきクラブ、婦人防火クラブなどがあり、それぞれ活動しています。これからも皆様と一緒に安心安全・より良い町づくりを携わっていききたいと思っています。



真鍋新町はその名の通り、昭和50年の町内再編によりできた新しい町です。国体道路沿いには多くの商業施設ができ、町も明るくきれいになりました。町の中心にあった協同病院がおおつ野に移転しましたが、跡地には土浦リハビリテーション病院が開院し、また近くにはホテルや保育園もできました。中でも令和2年に新町公民館が建設されたのは町にとって大きな喜びとなりました。

近年空き家も見られますが、多くの新築住宅ができて住民も増えてきています。来年は新町生誕50年になります。新旧の住民が一つとなって親睦を深め、明るく元気な新町にしたいと思っています。

よろしく願います。

私は昭和19年、真鍋三丁目生まれ育ちの80歳です。小、中、高と12年間、真鍋の坂を上り下りして通学しました。28年前に転居してきました。転居して数年後から防犯パトロール隊に参加し、毎週月曜日の夕方一時間、10人ほどで拍子木を打ちながら安心安全の街を願って歩き現在まで続いています。この間43年間土浦市議を務めてきました。

趣味は登山とピアノです。若い頃は谷川岳、白馬岳、八ヶ岳など三千メートル前後の山を40座ほど登ってきました。今は近場の宝篋山や朝日峠ハイキングコースなど低山を楽しんでいます。ピアノは上達しませんが今も続けています。登山もパトロールも健康のもとと信じてこれからも続けていきます。

スポーツ特集

くりくり少年野球茨城支部大会優勝

全国大会出場

キャプテン 真鍋小6年 菅谷諒介

ぼくは1年生のころから野球をしています。5年生の時に真鍋野球スポーツ少年団と若松ラッキーズが合併して、真鍋NEXUSが誕生しました。今は2年目になります。ほとんどが真鍋小学校の友達なので、一緒にチームになれてうれしかったです。



最初のうちは一人ひとりがバラバラでまよまりのないうチームでしたが、「全員野球」を目標に

してまたスタートしました。監督やコーチなどいろいろな人に教えてもらいながら、練習を頑張ってきました。

くりくり少年野球茨城支部大会で

はトーナメントを勝ち上がり、決勝

戦の相手は駒津ヤンキースでした。

みんなで声を出して「全員野球」が



できたので、7対2で勝って優勝することができました。7月26日に参加する全国大会でもみんなで力を合わせて勝利をつかみたいです。ぼくは友達とできる野球が大好きです。



真鍋NEXUS（ネクサス）

チーム紹介

真鍋NEXUSは、野球を通して「人間力・礼儀」「考える力・自発性」「友情・思いやり」を育みます。



真鍋NEXUSが大切に行っていること、それは子供たちに野球を好きになってもらうことです。そのために、子供を委縮させるような「罵声指導」や「否定的な声かけ」は一切行いません。野球ができること、コーチや保護者への感謝の心を持ち、仲間でありライバルであるチームメイトとの絆を育み、自発的なプレーや行動を讃え合う。その全てが人間力の向上、そしてチームの向上につながっ

ています。

これら結果、2024年くりくり少年野球選手権大会茨城支部大会優勝・全国大会出場につなげることができました。



問

0800-79800-8936

(担当：代表 加藤)

manabe.nexus@gmail.com

全農杯全日本卓球選手権 全国大会出場

真鍋小学校3年 楊 月朋さん
真鍋小学校3年 楊 智成さん

全農杯全日本卓球選手権大会（ホープス・カブ・バンビの部）茨城県予選会では、双子で弟の楊智成（8歳）選手は2位、兄の楊月朋（8歳）選手は3位と二人そろって全国大会への切符を手に入れた。7月に神戸で開催する全国大会に茨城県代表として2大会連続出場を決めた双子の楊兄弟は、大舞台での活躍を誓った。



楊 智成さん

卓球に関しては近年、幼い頃から競技をスタートさせる選手が多く、二人も6歳の誕生日プレゼントとして父から卓球を教わっており、練習にはほぼ毎日取り組んでいる。身近にライバルがいるという環境下で厳しい練習にもめげずに頑張っているという楊兄弟。

弟の智成選手は「集中して練習し、

その練習成果が発揮できるよう頑張ります」と、兄の月朋選手は「昨日の自分に勝てるよう毎日練習し、大会では1回でも多く勝ちたいです」と大会への意気込みを語ってくれま



楊 月朋さん

した。全国大会での活躍を期待しています!! みんなで応援しています。体調に気を付けて頑張ってきてください。（文化広報部）

大会概要

小学生が参加できる全国大会である「全農杯全日本卓球選手権大会（ホープス・カブ・バンビの部）」の頭文字をとってホカバと呼ばれていて、日本一を決める大会です。



ホープス・カブ・バンビ3種目は学年別で以下のように分けられています。

ホープス… 小学6年生以下
カブ… 小学4年生以下
バンビ… 小学2年生以下

日本実業団パワーリフティング選手権 金メダリスト

東真鍋町辨天會 齋藤 真也



のめり込み、つい
に昨年度の全日本
実業団パ
ワーリフ
ティン
グ

選手権男子一般120kg級において優勝することができました。日本タイトルを一つ獲りましたが、記録にはまだ満足できないので更にトレーニングに励んでいます。

そして土浦市スポーツ協合理事兼

パワーリフティング部副部長としてより多くの方に楽しんでもいただけるよう普及に力を入れています。他に中学から始めた柔道でも四段取得を目



指して日々の稽古に精進しています。職業は市内にて理容師と

して営業しており、合わせて即応予備自衛官としても勤務しています。ダイエットは忘れてしまいました。が、今後も挑戦と夢の実現に向けて邁進し続ける決意です。今後の目標は年齢別に行われるマスターズの全国大会出場と、50歳代になったら世界マスターズへの出場です。応援よろしくお願いします。



令和6年度
前期公民館講座



デトックスヨガ



健康太極拳



スマホアプリ（地図やカレンダー）活用講座



己書（おのれしよ）

公民館講座のご案内

公民館講座は、前期・後期に分かれ、さまざまな分野で開かれています。募集要項は、市の広報紙「つちうら」の4月・9月号に掲載されます。市内の各中学校区の公民館毎に募集案内が出ます。二中地区以外の講座にも応募出来ますので、興味のあるところに問い合わせしてみてください。



初めての〇きみ細工

二中地区公民館

新職員紹介



館長

竹本 和佳子

本年4月1日の人事異動により、高齡福祉課より赴任いたしました。何卒よろしく願ひいたします。

市役所では主に介護保険認定調査員として高齡相談係に7年間所属し、福祉部門を中心に仕事をしていため、公民館では初めてのことがばかりで、右も左もわからない状況ですが、地域の皆様や利用者の皆様に温かく見守っていただき、感謝しております。

二中地区公民館が、地域の皆さまのふれあいの場として、また、親しみやすい公民館づくりを目指し、職員一同努めて参りたいと思っております。どうぞ、よろしく願ひいたします。



社協

小川 明莉

4月から土浦市社会福祉協議会真鍋支部職員として配属になりました。これまでは社会福祉協議会本部の福祉のまちづくり係にありました。現在は、新型コロナウイルス流行以前の生活に戻りつつある中で、高齡化も進んでいます。そのような中で、よりいっそう地域のつながりを持ち続けていくことが大切だと考えています。これまでバドミントンで培った体力と、持ち前の明るさでよりよい地域づくりに励んでまいります。

まだまだ未熟者ですが、地域の皆さまのお力添えをいただきながら精一杯頑張りますのでよろしく願ひいたします。

また、対象を限定しない福祉の総合相談窓口として、相談を受け付けておりますので、困りごと、心配ごとがありましたら、お気軽にお声掛けください。お待ちしております。



新着図書紹介

モノが減ると「運」が増える

やました ひでこ

新装版 家時間

内田 彩仍

メメンとモリ ヨシタケ シンスケ

大ピンチずかん2 鈴木 のりたけ

フライパンダ 柴田 ケイコ

ねことことり たての ひろし

地震・台風時に動けるガイド

辻 直美

ビジュアル「生きる技術」図鑑

かざま りんぺい

家族でそなえる防災・被災ハンドブック

天野 勢津子

T H E 藤井定食

藤井 恵

松尾シェフのレシピ帖

松尾 幸造

家族のレシピ

NBS「看取りを支える訪問診療」取材班

あなたが誰かを殺した

東野 圭吾

ハンチバック

市川 沙央

頭のいい人が話す前に考えていること

安達 裕哉

東京都同情塔

九段 理江

本と鍵の季節

米澤 穂信

レーエンデ国物語

多崎 礼

おいしいもんには理由がある

土井 善晴

くらしのための料理学

土井 善晴

やる気1%ごはんテキストでも美味しくつくれる悶絶レシピ500

まるみキッチン

歌われなかった海賊へ 逢坂 冬馬

水車小屋のネネ 津村 記久子

成瀬は天下を取りに行く

宮島 未奈

リラの花咲くけものみち

藤岡 陽子

リカバリー・カバヒコ

青山 美智子

アリアドネの声

井上 真偽

しんがりで寝ています

三浦 しをん

定年物語

新井 素子

夏空 東京湾臨海署安積班

今野 敏

シャーロック・ホームズの凱旋

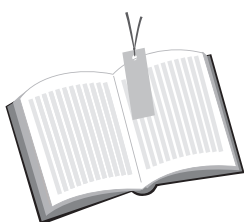
森見 登美彦

ある行旅死亡人の物語

武田惇志・伊藤亜衣

八月の御所グラウンド

万城目 学



町内ウォッチング

若松町

若松町こども夏祭り

若松町地区長 井深 敏彦

若松町こども夏祭りは、子供からお年寄りまでが楽しく、そして思い出に残るお祭りを目指して毎年8月に開催しています。新型コロナウイルスの影響で3年間お祭りを開催することが出来ませんでした。昨年は久しぶりに再開することができました。山車の巡行に加えて、公園でのビンゴ大会等のイベント、更につばさ会(青年会)による焼きそば、かき氷等の屋台も登場し大いに盛り上がりしました。お年寄りには公園内に特別テント席を用意し、猛暑にもかかわらず多数の参加をいただき、ビンゴの賞品を獲得した笑顔が印象的でした。

お祭りの準備は町内会役員・班長・育成会・つばさ会が分担して進め、お祭り当日には楽しく盛り上げると共に子供たちの安全確保を重点的に心掛けています。「楽しかった」「来年も参加したい」などの子供達の声を励みに、今年もお祭りの準備を進めています。

つばさ会(青年会)会長 渡邊 健介

若松町のお祭りは、子供達を中心としたこども夏祭りです。コロナ禍も明け、昨年から若松町こども夏祭りをまた再開出来るようになり、子供達の夏の思い出作りのサポートを微力ながら出来るようになりました。

昨年は、コロナ禍の影響で、数年ぶりの夏祭りの開催だった為、子供達のお囃子の練習や準備など、大変だった事を憶えています。が、それもまた、いい思い出の一つになっています。

今年度から青年会会長になり思う事は、若松町こども夏祭りを通して年齢を問わず親睦を深め、地域の活性化を目的とし「安全・安心」を第一に、町会役員・二中役員・育成会と協力し、子供達の元気な声と笑顔で溢れる夏祭りに出来るよう頑張りたいと思っています。

育成会会長 坂巻 幸江

今年度も、若松町こども夏祭りを開催できます事をとても嬉しく思います。

若松町のお祭りは、町会・つばさ会・育成会、地域の皆様の力を合わせて「明るく元気な若松町」を実現できる大事なイベントです。

夏休みに入り、すぐに子供達はお囃子の練習をします。経験者のお兄さん・お姉さんに太鼓や笛を教わります。お祭り当日は山車を引き町内を巡行します。若松町・東若松町を巡る中で、地域の皆さんと交流ができ、季節感のあるとても貴重な体験になります。

子供が減少している時代だからこそ、地域の子供達の貴重な「今」という時間に、若松町で過ごしたという思い出を残してあげたいという気持ちです。「楽しかった・またやりたい」の子供達の思いを大切に、

伝統を繋いでいきたいです。

